

ふくふくファンド 2008 年度 助成事業報告書

21 年 3 月 31 日

団体名（ふりがな） 特定非営利活動法人あかねグループ
事業名 2008 年ふくふくファンド
連絡担当者お名前（ふりがな） 清水福子
助成金を使って行った事業について、記述してください。 （活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）
<ul style="list-style-type: none">・ 冷凍コールドテーブル設置 テーブルになっているので仕込み用作業台として使用

助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)



今回の事業によって、団体全体の活動にどのような成果・効果がありましたか

・お正月休み以外、毎日昼 50 食、夕 130 食の配食サービスをしておりますので計画的に食材の購入、半調理の保存に活動時間、活動費の短縮に大変役立ち、冷凍庫は必需品です。又厨房が狭いので作業台として活用できるので合理的な製品を備えることができたので、嬉しく使わせていただいております。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか

・庫内に仕切り等がなく、大きいものでもまとめて入れることが出来ますが、少量のものを入れて、次回使用時に探すのが困難な時があります。庫内の整理整頓用の仕切り用品や、食材や食品を区別する棚等を準備して衛生にも気をつけながら、使いやすく工夫していきたいと思っています。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ファンド助成金	100,000	
あかね負担金	322,100	団体自己負担分
合計	422,100	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
冷凍庫	422100	冷凍庫、取り付け工事、既存品処分、フロンガス破壊費、消費税
合計	422,100	

宮城県労働者福祉協議会様へのメッセージをどうぞ。

・特定非営利活動法人として活動している私たちには、限られた予算しかありません。活動費、経費等を抑えながら活動していますが、今回のように急に電化製品がこわれ、本当に困っている時に助成金はありがたく思いました。これからも地域社会の高齢者のためにあかねグループは活動を続けていくために学んでいきます。